

音声教材普及推進会議 in 鹿児島 事例発表

肢体不自由児の教科学習における デジタル化した教材の活用例

2018（平成30）年10月12日

福島 勇@福岡市立今津特別支援学校

対象児のプロフィール

特別支援学校（肢体不自由）に在籍

中学部 3 年生 男子 15歳

平成29年10月に他県から転入

身体障害者手帳 2級

対象児の肢体不自由の原因と様態

劣性栄養障害型先天性表皮水泡症

全身の表皮が薄く潰瘍化、褥瘡化

全身の痒みと痛みが絶えない

手足の指が癒着していてゲンコツ状態

重度の貧血があり、体調を崩しやすい

疲れやすい

対象児の学習面に関する実態

○知的な発達の遅れは無い

○治療や入院による学習空白はあるが
学習意欲は高い

△教科書のページめくりが困難

△筆記具を使った筆記・描画が困難

対象児の学習上の困難さを軽減するために

(1) デジタル化した教科書を利用

転入直後、Access Reading事務局に申請して、
EPUB版とWord版の教科書データを入手

※ Word版はPDF化してiBooksで読めるように設定

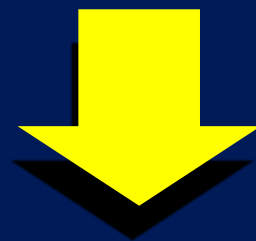
※ 教科や学習内容によってEPUBとPDFを使い分ける

(2) ワークシート等はPDF化してマークアップ機能で記入

iPadを学習のツールとして活用

デジタル化した教材を活用した結果

- ① 教科書が自分のペースで使えるようになった
- ② 新出単語などを自分で調べやすくなった
- ③ 筆記にかかる時間が短縮できるようになった
- ④ 読み取りやすい文字で書けるので
復習がしやすくなった



学習成績が向上

Facebook→Isamu Fukushima

ブログ→<http://sam-eatlab.blog.jp/>



YouTube→174iamsam

